



神崎小だより

神崎町立神崎小学校
平成30年9月20日

学校教育目標…心豊かでたくましく生きる児童の育成
めざす児童像…なかよく かしこく たくましく やりぬく
合言葉… 「希望の登校 満足の下校」
早寝・早起き・朝ご飯

平成最後の運動会を保護者や地域の皆様、そして町教育委員会を始め関係者の皆様にお骨折りいただき、整備された素晴らしいグラウンドで実施できたことに対し、本当に感謝する次第です。土曜日の開催を降雨のため日曜日に延期したところ、予想以上に雨量が多かったため日曜日開催も大丈夫だろうか心配しました。しかし、大量の砂を入れていただいで整備したグラウンドは、以前のグラウンドとは違い、濁りも早く日曜当日には若干緩んでいた場所があったものの運動会を実施するに堪える状態まで回復できていました。以前のグラウンドなら日曜開催もできず、18日以降になっていたものと思います。

子供たちが練習の成果を十分に果たせたのもそうした要件が整っていたからだと考えます。また、当日の運動会では、PTA役員の皆様、来賓の皆様、多くの参観者の皆様の競技に対する様々な形での協力に対しまして心から感謝するしだいです。PTA綱引きにもたくさんの会員の皆様に出場していただき、運動会を大いに盛り上げていただきました。行政・学校・保護者・地域が一体となって取り組むことの大切さを改めて認識させていただいた今年の運動会でした。ということは何となくおさず、子供の育成は、上記の三者が一体となって取り組むことによって大きな成果が得られるということにほかなりません。これからも子供をよくするための意見交換をしっかりと行い、引き続き皆様からのご支援を頂けるよう職員一同がんばってまいります。

みんな立派に主役になれたよ…。白組優勝おめでとう。白組・赤組応援団長いい挨拶だったよ…。

わずか12点の僅差で優勝を争った今年の運動会は、記憶に残る見ごたえのあるものになりました。午前中の赤白の得点差は、赤が圧倒的な優位に立っていました。しかし、白がその差を午後の団体競技で逆転する形になったのは、最後まであきらめずに多くの子供達が頑張れたからではないかと思えます。勝負は終わってみなければわからないとよく言われます。このことをどのように今後生かしていくか、大切なのはこれからです。

今年の運動会の練習や様々な準備と運動会当日までの取組を、子ども達にはしっかりと振り返ってほしいと思います。私は、閉会式の講評の中で、結果ではなく取り組みの過程をあまり話せなかったのも、この紙面を借りてもう少し語りたいと思います。

一番長く練習してきて、たくさんの子供達が発表に関わった演技は何ととってもマーチング・パレードです。1学期から練習を開始し、夏休み中も練習を行いました。多くの先生方の指導により完成できたものです。郡司さんの総指揮の下で金管楽器の演奏やフラッグ隊の動き、鍵盤ハーモニカ隊の演奏、1、2年生のダンス、これらが一体となった演技は、多くの参観者の目をくぎ付けにしたと推測します。動きや音を揃えようという意識が朝礼台の上に立ってみんなの演技を見て感じました。心をつなげて頑張っているなとうれしく思いました。多くの子供達がかかわった演技といえば、6年生の田籠団長や伊藤団長を中心とした赤白に分かれての応援です。運動会を盛り上げ、みんなの気持ちを一つにまとめていくうえで大変貢献しました。応援団結成から当日までの練習の様子を見ていて、リーダーの団員への指示や助言が上手になっていくのを感じました。もっと頑張ろうという気持ちを引き出すリード（応援の良くなってきた部分の評価や何をがんばるともっと良くなるのかの助言）ができるようになってきたと思います。常に先頭に立って人をまとめていく難しさややりがいを感じられたのではないかと思います。貴重な体験をすることができ、人間的にも一回り大きく成長できたのではないかと思います。本当によく頑張りました。運動会を終えての各団長からの一言もそれぞれの思いが込められたメッセージでした。特に赤組の田籠応援団長の悔しい気持ちは、他の団員も同様であったと思います。一生懸命にやったからこそ味わえる気持ちです。勝った負けたで終わらせることなく、その過程で何を学んだかが大切なんです。





久しぶりの白総合優勝！おめでとう

- ・とても悔しいけど満足。みんながいたからこそ出せた声であり、そして最後まで走れました。だからみんなにありがとうと言いたい。(田籠拓翔さん)
- ・今年はリレーの選手の1, 2, 3位の人が同じレーンに入っていて地獄でした。でも走る前にみらいちゃんが「りーちゃんなら1位とれる！頑張って！」と言ってくれてモチベーションが上がりました。(郡司梨叶さん)
- ・今年は、赤が始めは結構リードしていました。けれど諦めず応援し、競技も頑張りました。その結果、大逆転し、総合、リレー、応援の3つのタイトルすべてをとることができました。(池上凌久さん)
- ・最後の種目が終わった瞬間涙が出そうになりました。友達の変った一面も見られて楽しかったです。運動会を通して前よりも立派になれたと思いました。(園部龍斗さん)
- ・この運動会で学んだことは協力し合うことです。運動会は色々な準備があるけどどれも一人の力だけではできません。協力し合ってきたから素晴らしい運動会になったと思う。(井上七海さん)
- ・6年生になると仕事も多くなり大変なことが多くなったけどそれだからこそ自分が成長したなと感じた。小学校最後の運動会は大成功であった。(福島圭太さん)
- ・初めて小学校生活で優勝できてよかったです。勝てないで終わるのは悲しかったので、本当に良かったです。(田邊克樹さん)
- ・この運動会で学んだことは、友達と力を合わせて優勝を目指すことができたことです。僕は今年初めて小太鼓をマーチングでやりました。最初は難しかったけど練習を頑張っとうまく叩けるようになりました。(成田将仁さん)
- ・係の活動の用具係では、効率よく用具を出したりしまったりすることができてとてもよかったです。(大野華さん)

図書室がリニューアルされました。読書の秋を満喫しましょう！



先生方が夏休みの2日間で、子供たちに図書室をたくさん利用してもらうため、たくさんの本に親んでもらうために本の整理等を行いました。茨城県の図書ボランティアの方にお手伝いいただき、見たい本をすぐに手に取って見られるように置き場所を工夫(絵本などは低い位置に置いたり、出入りに物語の本を多くそろえるなど)したり、本を読んでみようと思ってもらえるような様々な工夫を凝らしたりしました。是非、図書室を活用してください。10月からは1週間に1度ですが、図書館司書の方に勤務していただき、さらに読書を推進していきます。